

2008 年度

科目名	対象学科・学年 文学部日文3 回生	担当者	
日本語史 A		宇都宮 啓吾	
授業テーマ 日本語の変遷について基礎知識を習得する			
授業の概要と目標 日本語の歴史的な変遷について、文字・表記を中心に特徴的な変化の事象とその変化の要因について説明します。また、日本語の変化と社会の変化との連動に関しても説明します。			
評価方法 テストと平常点（全講義数の 2/3 以上は出席すること）で総合的に評価します。			
テキスト	著者	出版社	
特に指定しません。適宜、プリントを配布します。			
参考書	著者	出版社	
特に指定しません。適宜、紹介します。			
授業スケジュール・内容			
	時間	テーマ	補足
導入	1	オリエンテーション	前期の講義計画・評価方法等の説明
	2	日本語史研究の意義	日本語史研究から何がわかるか。
講義①	3	文字・表記の諸問題①	文字の歴史：五十音図 平仮名・片仮名の成立 片仮名の歴史的変遷 諸符号
	4		
	5		
	6		
講義②	7	文字・表記の諸問題②	仮名遣いの問題：上代特殊仮名遣 定家仮名遣 歴史的仮名遣 現代仮名遣
	8		
	9		
	10		
講義③	11	文字・表記の諸問題③	漢字の用法 漢字仮名交じり ローマ字
	12		
	13		
総括	14・15	前期講義の総括・テスト	前期講義の総括・テスト

日本語の歴史に関して、個別の事象について理解をするだけでなく、その背景にある様々な文化的背景を理解することによって、言語研究が大きな広がりを持つものであることを理解してください。